

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスに始まり、夏の猛暑、様々な感染症の流行に加え早期のインフルエンザ流行と大変な1年だったと思います。保護者の皆様のお力添えのおかげで、無事新年を迎える事ができました。心より感謝致します。今年度も残すところあと3ヶ月となりました。これから、進級、進学に向け1日、1日を大切に、健康に気を配りながら楽しく過ごしていけるよう見守っていきたいと思います。新しい1年が、子どもたち、保護者の皆様にとって幸多き年でありますようお祈り申し上げます。

令和6年1月1日
株式会社ピノコーポレーション
代表取締役社長 谷井 さとみ

ピノキオ文庫 ピノキオから、子どもたちに人気の絵本をご紹介します。

「たいこどん」

作：きくちちき 発行所：福音館書店

「どこどん どこどん どこどこ」♪

子どもが太鼓を叩いていると猫がやってきます。猫と一緒にどこどん♪と太鼓を叩いていると、次は犬もやってきます。太鼓を叩くたびに馬・牛もやってきて、みんなで「どこどん どこどん どこどこ」と仲良く太鼓を叩いて楽しんでいます。動物のお友だちが増えるたびに太鼓を叩く回数も増えて、絵のタッチも豪快で迫力があります。ストーリーの中に会話はありませんが、動物のお友だちみんなで同じ事をするのが楽しく、子どもたちも、絵本を見ながら太鼓を叩く真似をし、0歳児の子どもたちも、何度か読んでもらううちに「どーん」と言って、太鼓を叩く真似をしています。乳児の子どもたちにとって、簡単な言葉を繰り返すこの絵本、みんな大好きです。是非、手に取ってご覧ください☆
(ピノキオ幼児舎 新杉田園)



2023年11月18日(土)
AP市ヶ谷にて
開催いたしました。

第22回 ピノキオ保育シンポジウム

「生きる力」 ～非認知能力とは～

第22回ピノキオ保育シンポジウムでは、ピノキオ幼児舎で行っているPLP(ピノキオラーニングプログラム)の体操講師、さわだスポーツクラブの池谷先生をお招きして、身体活動から考える『非認知能力』について講演をしていただきました。
『非認知能力』は『社会情緒的スキル』とも言われ、『生きる土台となる力』『あと伸びする力』『生涯の学びを支える力』として近年、幼児教育分野で注目されています。ピノキオ幼児舎では子どもたちの『好奇心や学びの芽を育てる』ことを大切にするためにPLPとして専任講師による体操、造形、リトミック、英語教育を行っています。各園から保護者様や保育園職員、PLP講師も参加し、子どもの気持ちになってのびやかな子育てについて考えるシンポジウムとなりました。



基調講演：講師紹介

さわだスポーツクラブ
池谷 仁志先生

- ・運動遊びアドバイザー(職員・子ども・親子を対象)
- ・日本幼児体育学会理事
- ・資格認定委員長
- ・認定専門指導員



ひとりひとりに、のびやか保育。
ピノキオ
ピノキオ幼児舎

「ピノキオ通信」で紹介して欲しい事、ご意見、ご相談などがございましたら、各園、または、下記のアドレスまでお気軽にお寄せください。

e-mail info@pinoh.co.jp

ピノキオ通信 第79号 2024.1.1発行

(発行元) (株)ピノコーポレーション
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-26-16 ビクトリアプラザ高円寺3階
TEL.03-3317-5113 FAX.03-3317-5081

URL www.pinoh.co.jp

「生きる力」～非認知能力とは～

講師：池谷仁志先生

一度身に付いたら残るものを身につけさせたい

まずはじめに少し遊んでみましょう。両手をパーにしてください。次にグーにしましょう。(交互に両手をグーパーしながら)これは何歳くらいの子ができるでしょうか。次に右手でグー、左手パーをして、交互に入れ替えてみましょう。これができるのは何歳何ヶ月くらいでしょうか。今度は片手を胸にあててグー、もう片方の手を広げてパーにします。先ほどと同じように交互に入れ替えてみます。皆さんでやってみましょう。3名ほどグーパーが逆になっていますね(笑)。今度は今やった動きを歌に合わせてやってみましょう。
♪「もしもしカメよ、カメさんよ、世界のうちでお前ほど…」



僕は保育園卒業時に逆上がりができる子どもが、小学校3年生になったらできなくなってしまった、という事例を何十・何百と見てきました。小学校3年生になるまでの間で体型が変わり、できなくなってしまったんです。身につけたものが下がるということですね。しかし、先ほどのグーパーの手遊びは一度身に付いたら下がらないんです。残るんです。下がるものよりも下がりないものを子どもたちと一緒に取り組めた方が将来的には役に立つのではないかと考えています。

『認知能力』と『非認知能力』

今回のテーマである『非認知能力』は、ここ最近幼児教育の世界でもよく聞くようになりました。『非認知能力』の反対側にある『認知能力』は『IQ=知能指数』と表現することもあり、数字に表れるのでどうしても数字の高い方が優れているという捉え方をしやすいです。一方で『非認知能力』は『EQ』と言われ、数字には表れません。ここからは、『非認知能力』はどうやって育つのか、私たち保育士の皆さんはどんなところで『非認知能力』が育つきっかけを作っているのか、というお話をしていきます。



『非認知能力』とは3つの力



『非認知能力』の1つ目は「目標に向かって頑張る力」です。例えば積み木を積み上げている途中で一個落ちたとします。あー!と思いつながりながら続ける子もいますが、すぐ諦めてしまう子もいます。失敗した時に「もう一回やってみよう」となるために、大人がどう動くかを考えることが大事ですね。

2つ目が「人とうまく関わる力」。例えば山登りをしていて登れない子に手を差し伸べるなどの思いやりのことです。ここで勘違いをしてはいけないのが、「手を出しなさい」とか「引っ張ってあげると優しいね」と大人が言ってしまうと、本来その子が優しい気持ちで手を差し伸べたのではなく、大人に言われたから手を差し伸べたのかもしれないと思ってしまう、本来の『非認知能力』は育っているのかちょっと怪しいと思います。こういう場合、大人は「良いことをしたね、してもらった子はどういう気持ちだった?」と聞いてあげることが大事で、強制的に「手を出しなさい」とか「優しいね」と言うだけでは『非認知能力』は育たないと思います。

3つ目が「感情のコントロール力」です。目の前に大好きなケーキが並んでいる子どもが、お母さんから「お兄ちゃんが帰ってきたら食べようね」と言われたとします。本当は今すぐ食べたいけど我慢したら褒めてもらえると思って心が動いている。もし食べてしまったとしても、必ずしも我慢すればいいということではなく、そういう機会がまた出てくることを願えばいいだけです。

『結果』ではなく『過程』を大事にする

『非認知能力』は以上のような場面が起きた時に、どうしよう、どっちを選ぼうという途中の『過程』のことで、『認知能力』はその『結果』のことです。『結果』だけを見るのではなく、途中の『過程』を見てあげる大人が側にいることで、子どもの『非認知能力』は育つと考えられています。

優先順位の1は子どもである

『非認知能力』について困った時、私どもの会社では『優先順位の1は子どもである』というところに立ち返ります。ある時間が終わった時、子どもたちに「楽しかった人!」と聞くと9割は手が挙がりますが、これは条件反射みたいなものです。もっと言うと、大人がいい時間が作れたな、という自己満足のために聞いているだけです。ゲームをした場合、勝ったチームは楽しかったかもしれない。しかし、負けたチームには悔しかった、嫌だったと思う子がいるはずですね。子どもは「楽しかった」って言う先生が喜ぶだろうという頭の良さで手を挙げる場合があります。そういう勘違いをしないように、ちゃんと子どものためになっているのか、大人の自己満足になっていないかを考えたいですね。

子どもの〇〇を認めて主体性を育てよう

『叱る』よりも『褒めて』伸ばしましょう、と言われますが、『褒める』のその先に「認める」を作ってみたらどうでしょうか。例えば、公園で子どもたちに次に行くことの説明をしている時、飛行機が飛んで来てよそ見をしてしまう子がいたとします。その時「今は話を聞く時間ですよ」と言うのではなく、「何見ているの?」「いくつ飛んでいる?」と認めてあげて、「じゃあ次は先生も面白い話するから聞いてね」と伝え、認めてあげたことで次に向けての集中力が必ず増します。ダメだと言うと、ストレスしか生まれません。

進んで何かをする行動には『自主性』と『主体性』があります。例えば保育園で先生が針時計をさして「長い針がてっぺんにいったらゴミを10個拾いましょう」と言うと、「てっぺんまでいったら10個拾う」という、決まりごとが出来たときのことを『自主性』と言います。ゴミが落ちていた時、誰に言われたわけでもなく、子ども自身が「拾った方がいいよな」「部屋が綺麗になるよな」と自発的に考えて拾った場合は、『主体性』となります。子どもが進んで何かをした時、それが『自主性』なのか『主体性』なのか、違いを理解できるといいと思います。



子どもたちの心を揺り動かすために

目の前にいる大人がストレスを与える人ではなく、一緒にいると面白そうだなと思ってもらえる存在になることが大切です。子どもたちの『主体性』を大切にすることで、心を揺り動かすことができます。だから私たちは子どもたちと一緒に五感を使ってさまざまなことに取り組み、認めてあげて、『主体性』を育むよう子どもたちの考える力を引き出す環境を提供していきたいですね。

『親バカ階段』をゆっくり登りましょう

親御さんは子どもが生まれて1歳頃までは、他の子を気にせず「首が座った」「座れるようになった」「一人で歩けるようになった」など自分の子の成長だけを見ていたはずですが、それがだんだん他の子が気になったり、『認知能力』の方が気になってきて、「駄目だよ」という言葉が増えていきます。でも決してダメを言うてはいけないということではありません。これ以上、子どもたちの〇〇を認めていたら、この子は生き死にに関わるぞと思ったらきつい声を出して止めるのは大人の役目です。

答えが複数になる『ド』言葉をかけてあげよう

子どもに「なんでそんなことしたの?」「なにをしたの?」と言うと、「あ、これは絶対叱られてる雰囲気」「ここで何か言ったら火に油を注ぐな…黙ってこ」のように考え、答えが出てきません。これが頭に『な』がつく『ナ』言葉で、『ド』言葉とは「どうする?」「どうだった?」「どうしたかったの?」など頭に『ど』がつく言葉です。「どうだった?」って聞くと「楽しかった」と答えるかもしれないし、「楽しくなかった」と答えるかもしれない。『ド』言葉の方が子どもの答えが増えるんです。答えの数を増やしてあげる質問や、答えが一つではなく選べるような質問をする環境づくりが大事です。

自己肯定感を高めるために

最後に自己肯定感を高めるために心がけたい3つを紹介します。

- ❶「失敗を責めない」失敗体験をおおらかな目で見てあげる
- ❷「人と比較をしない」認知能力のように数字で比較しない
- ❸『スキンシップ』自分が愛されているという気持ちになる



さいごに

今日お話ししたことは全部できるとは思っていません。僕自身も100点満点できる自信はないです。でも一つでも心に残れば、出そうになった言葉を違う言葉に言い換えたり、『ナ』言葉が出そうになった時に『ド』言葉に言い換えることができるかもしれません。そんな風にしていけたらいいと思います。

シンポジウムの内容は
Youtubeチャンネルにアップしています。
右の二次元コードよりご覧ください!



PLP造形

チャイルドビジョン作ろう

小川陽一郎(造形)

子どもの安全を守るためには、子どもの特性を理解することが大切です。その特性の1つに「子どもの視野」があります。今回の造形PLP体験では、子どもの視野を疑似体験できる組み立て式のチャイルドビジョンを作って、幼児の視野を体験しました。



参加者のコメント

普段子どもに「あれがない」と言われた時に「そこにあるじゃない、なんで見えないの?」みたいに言うことがよくあるので、子どもの視野体験をしたことでちょっと反省しました。(保護者様)

視野について少し話しますが、鉄棒がありその下をボールが転がっていきまいた。すると子どもはボールを取ろうと視線を下げて鉄棒が見えなくなりぶつかります。大人は「よく見てないから…」と思ってしまいますが、子どもは見えていないんです。だから大人は先回りをしてそこに行っておけるか、一言先に声を出してあげるかをしないとイケないですね。(池谷先生)

大人が思うより見える範囲が限られているので、見ようとしないと見えないということが分かりました。身体を動かしたりする時に「周りのお友だちにぶつからないように広がって」と言うことがありますが、今回チャイルドビジョンを付けてみると、周りのお友だちが見えないこともあるとわかり、大人の感覚ではなく、子どもの気持ちになって声掛けをしていきたいです。(荒井先生)

PLP体操

手ぬぐい体操

池谷先生(さわだスポーツクラブ)

体操のPLP体験では、池谷先生に手拭いを使った子どもの視野や体の大きさに合わせた遊びを教えてくださいました。1人でできる遊びや、2人1組でする遊び、ゲームのように対決する遊びもあって会場は大いに盛り上がりしました。



参加者のコメント

2歳児を担当しているのですが、保育室にはバンダナがいっぱいあるので、バンダナでもできるんじゃないかなという遊びのヒントにもなりました。(保育者)

子ども向けでもあるんですけども、大人にとってもストレス解消になって楽しかったです。楽しくて笑うことで気持ちも明るくなりました。(谷井社長)

とっても楽しかったです。英語のPLPは、新しいプログラムでいっぱい考えることややりたいことがあるのでいろいろと覚えていきたいです。(カトリナ先生)

基調講演講師である池谷先生をはじめとしたPLPの専任講師と一緒に、実際のPLPを子ども目線で体験していただき、学びの世界やのびやかな子育てについて語り合いました。

PLPリトミック・英語

ハロハロソングで楽しもう

荒井美慧、渡邊千恵子(リトミック)
カトリナ・アルビナ、ブレッシング・アベド(英語)

ハロハロとはフィリピンで人気のカラフルなトッピングがのっているかき氷のようなスイーツのことで、ハロハロソングにのせて、様々な色の名前をアクセントに合わせて手拍子をするリトミックを日本語と英語でおこないました。



参加者のコメント

子どもたちはリズムに乗ることが好きなので、こういう遊びを普段の保育で取り入れたらワクワクが増えるのかなと思いました。(保育者)

昨年からカトリナさん、今年度はブレッシングさんがピノキオに入っていたことで、今多様性と言われる中、PLPだけじゃなくて保育の方でもすごく幅が広がったと感じました。(小川先生)

本当にいつもとっても楽しいです。子どもたちもこのリトミックの時にいっぱい笑うので素晴らしいと思います。(ブレッシング先生)

パネリスト 池谷仁志先生(さわだスポーツクラブ)
谷井さとみ(ピノキオコーポレーション社長)
小川陽一郎(PLP造形講師)
荒井美慧(PLPリトミック講師)
渡邊千恵子(PLPリトミック講師)
カトリナ・アルビナ(PLP英語講師)
ブレッシング・アベド(PLP英語講師)
司会 斉藤竜式(研修講師)

Q&Aコーナー

池谷先生に答えて頂きました

Q.家庭内で子どもの『非認知能力』を引き出すために気をつけると良いことを教えてください。

A.おもちゃが出っぱなしで、早く片付けてほしい時、答えをいくつか用意してください。おもちゃをしまうケースを2カ所用意して、「今日はどっちにする?」と子どもに選ばせます。すると子どもは自分で選んだことで、子どもなりに責任感が芽生え、意外と進んでやるようになります。

Q.自宅で『非認知能力』を育てるのに良い身体活動を教えてください。

A.大人に向かう時にいろいろなものが伸びますが、1個だけグーンと伸びる部分があるんです。先ほどお話ししたグーとパーを使った神経を伸ばす遊びで、8歳9歳ぐらいまでに伸ばしておくことと落ちることはありません。以前、午前保育で4歳児と一緒に運動遊びをして、午後は専門学校で学生に教えていた時代がありましたが、同じことを午前と午後でやると失敗する確率は同じぐらいです。大人でも苦手な人がいて、そういう人は幼児期に神経系を伸ばすようなことをしてこなかったのだと思います。ご質問への回答としては幼児期にはなるべくいろいろなことを取り入れていただけたらいいと思います。

社長あいさつ

参加されている皆さんいかがだったでしょうか。PLPをたくさん体験していただいたことで、いろんな考え方を少し意識してご自分でも取り組んでいけるようになればと思っています。ピノキオでは創業以来、保育の中にPLPを取り入れながら、自然な形で『非認知能力』というものを育てています。ご家庭では「何かしなきゃ」とか、「これでいいのかな」と思ってしまうと負担になったりすると思いますので、今まで通りのやり方にちょっとだけ環境を考えてみるとか、そういう意識を少しでもプラスしながら取り組んでいただけたら、『非認知能力』はうまく育っていくのではないかと思います。ご参加いただきありがとうございました。

ピノキオ幼児舎 園だより



今回は、「ピノキオアートフェスタ」での取り組みや活動内容、子どもたちの様子をご紹介します！

稲城園

みんなのかぼちゃ

今回の制作テーマはハロウィンでした。日々子どもたちの会話の中から「トリックオアトリート!」「ハロウィンだね」と季節を感じる言葉が聞かれていたので、10月はジャックオーランタンを制作することにしました。0歳児クラスは足形、1歳児クラスは廃材を使ったステンシルでかぼちゃを作りました。2歳児クラスから4歳児クラスは線の中を丁寧に塗り、キレイな色のかぼちゃができあがりました。それぞれ個性溢れるジャックオーランタンに仕上がりに、玄関に掲示しました。保護者の方から子どもたちから「これ作ったんだよ」と話しかけている姿が見られ、季節にあった制作をすることの大切さを改めて感じることができました。



真剣です!



個性的な作品です!

阿佐谷北
保育園

夢中で遊んだアートフェスタ

幼児クラス合同でのアートフェスタ。12,000個の紙コップを使って「わいわい」「じゅくじゅく」「こうさく」の3部屋を自由に行き来し、造形遊びを楽しみました。「じゅくじゅく」では最初、個々に紙コップ積み木を並べたり重ねたりを繰り返していた子どもたち。次第に大きなお城にするために、近くのお友だちとチームを結成!どこに紙コップを積み上げていくかを相談する姿や「紙コップもってくるね!」と助け合う姿が見られ、みんなで夢中になりながら壮大なお城を作りました!



まだまだ積み上げるぞ~!!

荻窪
保育園

線路は続くよどこまでも… 電車に乗ってお出かけしよう!

電車をテーマにアートフェスタを楽しみました。幼児クラスは段ボールでカラフルな電車を、各クラスでは駅の看板を制作しました。電車に乗って帽子をかぶり、車掌さんになりきって「つぎ、うさぎ(駅)!」と線路を走ったり、踏み切りを「かんかんかん」と言いながら渡ったり、お友だちと連結したりと、楽しい時間を過ごしていました。駅看板は、各クラスの力作に幼児クラスの子もたちがシール貼りを手伝うなどの交流もみられました。



みんなで、連結!!



かんかんかん 通りますよ

井荻
保育園

みんなで作った入退場門!

アートフェスタの取り組みとして、ジャンボリーで使用する「入退場門」を全園児で作りました。テーマは「海」。0・1歳児クラスは絵の具の感触を手足で楽しみながら、2歳児クラスは筆を使って直線やにじみ絵に挑戦!3歳児クラスは「ジャンボリーのパワーを溜められるように!」と、どのクラスも自分の好きな海の生き物を作りました。4・5歳児クラスは大きな段ボールに上や横、様々な方向から海の色をボディペインティングで色付け。仕上げにみんなで作った海の生き物たちを泳がせて完成です。素敵な入退場門がジャンボリーを盛り上げてくれました。



腕や顔まで海の色になっちゃった!



まるで海の中に入っていくみたいだね!

鐘ヶ淵園

スカイツリーと東京タワー

「町と海」をテーマに廃材を使って子どもたちだけで「車を作ろう」「家はどうか?」と次々にアイデアが浮かび町を作っています。そんな中、町のシンボルのスカイツリーと東京タワーを作りました。様々なサイズの段ボールを重ねた後はハケや手を使ってダイナミックに絵の具で色付けをし、細部までこだわる子や、全身絵の具まみれで塗る子など楽しみ方にも個性ができました。完成が楽しみです!



完成~!!



絵の具を大胆にぬりぬり...

井草
保育園

不思議な光☆

「ライトテーブルってなに?なに?」と2歳児クラスの子もたちは、興味津々でした。少しずつ慣れてもらおうと初めは、ライトを見せたり触ったりして遊びたい気持ちを高めていきました。慣れてきたところで透明フィルムにシールやマジックで色をつけてみんなでダンボールハウスに入って消灯。。。真っ暗な空間にライトボックスの光がピカピカして自作の模様を光にかざすと、天井に映りみんな大喜びでした。不思議な空間に色々な色の影が映るのが2歳児さんには、とても刺激的で、魅力的だったようです☆



不思議~!



うわあぁ~、映ってる!

上野毛園

想像してみてください!

ハロウィンにちなんで、絵の具で塗った画用紙の切り抜きから想像を広げておぼけを作りました。あえて形を意図せず塗り広げた絵の具の形から、ここは目かな、ここに口があるかな、と想像して次第に形にしていけるのは、最初から目や口を考えて書くのとはまた違った趣きがあります。偶然の中に意味を見出していくのは正に創造力の羽ばたきであり、子どもたちの人間としての成長をまざまざと感じることができました。



何に使うのかな?



おぼけになっちゃった!

ピノキオ幼児舎 園だより

吉祥寺
保育園

秋を探しに

今年はとても暑い夏だったので、早く秋にならないかなあ?の気持ちもこめて、子どもたちが楽しみながら、普段の保育活動の中で制作をしました。大きな木には、美味しそうなぶどうときのこ、お月見の制作ではお団子を個性豊かに作りました。これもまた美味しそう...これからいろいろな秋を探して、素敵な作品を作ってみたいと思います。



実りの秋



初秋のお月見

吉祥寺
アネックス

感じて考えて粘土遊び

色付き粘土と、様々な容器や道具を使って遊びました。初めて触る粘土を、ちぎったり伸ばしたり混ぜたりしながら、真剣に感触を探究しているように見えました。道具も自分で遊び方を考えて工夫していました。最後は遊んだ粘土を、お弁当容器に入れてお土産に。気が付くと50分もの長い時間集中して遊んでいました。粘土遊びが、ますます大好きになったようです。



粘土の感触をじっくりと



どの道具をどうやって使ってみようか

杉並区
保育室
高円寺

絵本大好き

杉並区保育室高円寺のアートフェスタの様をお伝えします。絵本が大好きな子どもたちは、各クラスで推しの絵本を作ってみました。0歳児クラスは『おさかないっぱい』制作中は、真っ赤な手・真っ青な手・真っ黄な手に戸惑いながらも、ダイナミックな作品に仕上がりました。2歳児クラスは、夏祭りに出会った『ばけぱけぱけぱけぱけぱけくん おまつりの巻』。絵の具で塗ったり、刻んだストローや毛糸・お花紙・綿等色々な素材でばけぱけくんが変身。最後は炭酸水にラムネを入れ、シュワ〜と消えていく仕掛け。職員紹介コーナーでは、写真やイラストで趣味・特技の披露。子どもたちも保護者の方も職員も大変楽しめた模様です。以上、現場からお伝えいたしました。



みんなの力作です!



手がベトベトだよ~

高円寺南
保育園

笑顔がたくさんのアートフェスタ

ワークショップでは、たくさんの紙コップを使用して遊びました。乳児クラスでは、紙コップをたくさん繋げたり、紙コップのプールに入ったりして楽しみました。幼児クラスでは、紙コップを使用して制作をしたり、たくさん積み上げて建物を作ったりして遊び込んでいました。作品展では、秋をテーマに、各クラス協力して作品を作りました。年齢に応じた技法で作った紅葉した木や、季節の野菜のスタンプ、どんぐりや落ち葉を使用した作品など秋を感じられる作品展になりました。



紙コップのお家ができちゃ!



みんなで作ったよ!

今回は、「ピノキオアートフェスタ」での取り組みや活動内容、子どもたちの様子をご紹介します!

新杉田園

ハロウィン楽しみだね!

2歳児クラス

公園に沢山の葉っぱが落ちていて、毎日お土産として持って帰ってきてくれる子どもたち。葉っぱの色は何色だったかな?大きさは?お話ししながらペタペタ、すりすり、思い思いの葉っぱが集まり、大きな木ができました。

1歳児クラス

ハッピー・ハロウィン!!新聞紙を丸めて絵の具を付けてスタンプにしました。ん?これは、何になるのかな~?おめめと口を付けたらカボチャの出来上がり!!ハロウィンが楽しみな、らっこ組です。



2歳児クラス



1歳児クラス

関町
保育園

関町芸術祭

今年度は園全体を通して、『絵の具の感触や色の変化を楽しみながら自由に表現する』をテーマに、4月から制作を行ってきました。幼児クラスでは、吹き絵、塩絵などでダイナミックに絵の具に触れ楽しみました。乳児クラスでは、絵の具自体に初めて触れる子もいて色々な表情が見られました。それぞれの発達や、季節に合わせた作品を飾り作品展を開きました。当日は来園者に枯葉を貼ってもらい、大きな紅葉の木が完成しました。子どもたちの成長や、年齢ごとの作品の違いなど、保護者の皆様と子どもたちに見て楽しんで頂く良い機会となりました。



幼児クラス展示



乳児クラス展示

センター
南園

すいか割り制作

食育で行うすいか割りの前にみんなで大きなすいかを制作しました。0・1歳児クラスは、すいかの種をシールでペタペタ、2歳児クラスは折り紙をちぎって縞模様を貼りつけ、「たくさん模様出来きたね!」と嬉しそう。自分たちで作った「すいか」で当日まで「すいか割り」のやり方を楽しみ、本番では自分たちの頭より大きな丸ごとしうかに興味津々、パンパン成果を発揮し、割れた時は「ヤッター!」と大興奮していました。すいか割りの後は室内あそびで転がしたり、太鼓にしたりと楽しみました。



すいか割り制作



茅ヶ崎
保育園

アートフェスタ

幼児3クラス合同でアートフェスタを楽しみました。朝からどんなことが始まるのか...ワクワクした様子の子どもたち。ワイワイコーナー、じっくりコーナー、工作コーナー、どの部屋からも笑い声が絶えず、満喫していた子どもたち。フェスタ終了後も「さっきの続きがやりたい!」という声がかかれたので、紙コップで遊びの続きをしました。工作で作ったものをお迎えに来た保護者の方に見せ、楽しそうに話す姿はとても微笑ましかったです。



そーっとそーっと!どこまで積めるかなあ



ワイワイコーナーで大はしゃぎ!

ピノキオ幼児舎園だより



今回は、「ピノキオアートフェスタ」での取り組みや活動内容、子どもたちの様子をご紹介します！

月島園

チームラボ

子どもたちが壁に光を当てて楽しめるように手持ちのライトを準備して「月島園チームラボ」を作りました。ラメやビーズ、洗濯糊の入ったジップロックをライトテーブルに当てて袋がどうなるのか真剣に研究しており「キラキラしている!」とライトでより光ったラメを見つけて喜んでいました。ミラーボールを出し部屋全体に光を当てると、光を追いかけたり、ライトの色を変えてみたり、音楽に合わせて踊ったりと楽しむ姿が見られました♪



ワオ!!



見つけた!

辻堂園

【やさいのおなか】をスタンプしてみたよ。

みんなの大好きな絵本【やさいのおなか】
お野菜を切ってみるとどんな形?「レンコン!」「玉ねぎ!」
何度も読むうちに、見ただけですぐに何のお野菜が分かる
ようになりました。本当にそうなの?子どもたちは、
包丁で切った切り口に興味津々!好きな色の絵の具を
付けて、ペタン、ペタン、スタンプしてみたよ!
みんなで栽培したオクラのおなかは可愛い星の形。
チンゲン菜のおなかはきれいな花の形。野菜のおなか
はいろいろな形で楽しかったね♪



ふむふむ。やさいのおなかは
こうなっているんだね



レンコンのおなかは面白いね

つつじヶ丘
保育園

ドキドキ!ワクワク!ワークショップ

ワークショップでは、初めは「わいわいコーナー」や「せい
さくコーナー」に集中していた子どもたちでしたが、造形
の先生が「じっくりコーナー」で紙コップを積み上げている
様子を見て、徐々に人数が増え、みんなで協力しながら
たくさん積み上げていました。あっという間にお城の
ような壁ができ、崩れてしまわないかドキドキ…!ひじが
当たって崩れてしまっても「もう一回作ろう!」と諦めずに
じっくり楽しんでいました。



くずれそう…ドキドキ!



なにをつくらうかな～?

中野
保育園

ドキドキとワクワク

9月に行った「出張ワークショップ」は大人気でした。初めは
紙コップに「?」マークの子どもたち。保育者が袋からポロポロ
と紙コップを落としているのを見て、目がキラキラに変わり
何が始まるのかドキドキ、ワクワク。遊びが始まるとどうする
のか少し考えてから遊び出しすぐに大興奮!一人ひとりが
自由に遊び、また全員で完成させたりと楽しんでいる子ども
たちでした。園でも子どもたちのドキドキとワクワクを引き
出したいと思いました。



温泉みたい



空まで届くかな

西八王子
保育園

アートフェスタでやりたいこと、やってみよう!

クラスごとの作品と制作風景の写真展示、ふだんの遊び
の中で作ったものの写真展示、「ピノぼうをみんなで作る
コーナー」、「紙コップで思いきり遊ぼう」で楽しむ1週間
となりました。紙コップ遊びでは、1時間以上ひたすら積み
上げる子、じっくりとシールやテープはりに熱中する子、
一人ひとりがやりたいことを満喫しました!一面の紙コップ
の海の中から「しあわせ～」とつぶやく声が聞こえてき
ました。



みんなでピノぼう作ろう!



コップの海だあ～

練馬高野台
保育園

紙コップ祭り

“紙コップ祭り”ということでコーナーに分かれて、紙
コップの様々な使い方を楽しみました♪
工作コーナーではシールや紙テープを好きなように
貼って妖怪をたくさん作る子、切って貼り付けハン
マーを作る子など、思い思いに想像を膨らませて工作
していました!遊びのコーナーでは自分よりも高く積み
上げタワーを建てたり、ホースのように繋げたり、普段は
なかなかできない大量の紙コップ遊びにどのコーナー
でも夢中になって楽しんでいました!最後は紙コップ
プールで大興奮の子どもたちでした!



抜け殻



紙コッププール

野方
保育園

ピノキオジャングル

今年度は、「ジャングル」をテーマに作品を作りました。
5歳児クラスは、何を作るのか色や形などを子ども同士
で相談したり、乳児クラスはマーブリングなどの技法を
使って制作しました。ライオンや恐竜、猿など個性豊
かな作品が出来上がりました。年長児クラスは飾りつけ
も一緒に、みんなで協力したピノキオジャングル
が完成しました。子どもたちは「いつもの保育園じゃない
みたい!」と大喜び。自分の作品を保護者の方にも見て
もらい、大満足でした。



みんなで協力して作るよ!



完成!はいチーズ!

ピノキオ幼児舎 園だより

浜田山
保育園

お店屋さん

夏に実施した『お店さんごっこ』が、とても楽しかったようで「またお店さんごっこがやりたい」という気持ちが芽生え、アートフェスタの4・5歳児ブースを『お店屋さん』にして進めていくことにしました。自分たちで考えて作るものを決めました。思い描いたものを作ることは難しかったようですが、食べ物、ドリンクバーや従業員のネームプレートなど、5歳児はよく見ているな～と思うものがたくさん出来上がりました。当日、ブースはとても大人気で常に大盛況でした。



ぴのきおずし、開店!



いらっしゃいませ～♪と店員さんに変身!アイスクリーム屋さん

番町園

秋祭り

今年度はおみこしを作りました。幼児クラスは紙コップに丸めた花紙でちょうちんを作り「みんなでひとつの作品を作ること」によって、お友だちと協力しようとする姿が見られました。乳児クラスはフィンガーペインティングで浴衣に模様を付けました。夏から感触遊びをしてきたので最初は手が汚れるのが苦手だった子ども指で色を付け楽しめるようになりました。秋祭りではみんなの「わっしょい」の掛け声と一緒に、元気にお部屋を周りました。



「わっしょい!わっしょい!」



みて!みんなで作ったんだ!

東尾久
保育園

紙コップって楽しいな!

段ボール箱に入った大量の紙コップを見た瞬間から子どもたちの目がキラキラ輝き出していました。紙コップ遊びが始まると、真剣に紙コップタワーを積み上げ、背丈より高く積んでみる子がいました。途中で崩れてしまうこともありましたが、その都度何度もやり直し諦めずに頑張っていました。思い切り紙コップではしゃいでいた子どもたちは「気持ちいい～!」と言いながら紙コッププールの中に潜り込んでみたり、天井に届かせるように積み重ねていました。「ここ押さえて」などお友だち同士声を掛け合いながら、どうしたら高く積み上げられるのか考え時間の限り真剣に遊んでいました。



そーつと、慎重に…



わあ～気持ちいい!

氷川台園

アートフェスタに向けて制作中

アートフェスタに向けて春夏秋冬の季節の移り変わりと共に子どもたちの成長の過程を表現しています。0歳児クラスは絵の具の感触を確かめながら絵の具で遊び、1歳児クラスはちぎったり丸めたりノリを使って楽しみ、2歳児クラスはダイナミックに手や筆を使って絵の具遊びを楽しんでいます。3月の展示では四季の山々がダイナミックに飾られるのが楽しみです。子どもたちと一緒にワクワクドキドキしながら1年通しての大作を完成させ達成感を味わえたら良いなと思っています。



絵の具遊び楽しいなあ～!



春の山と梅雨の山を表現してみました!

今回は、「ピノキオアートフェスタ」での取り組みや活動内容、子どもたちの様子をご紹介します!

順天堂大学
練馬病院
保育所びのびの

キラキラの光遊び

「ライトテーブル」を使ってワークショップを行いました。部屋の電気を消すと、「きゃー!」と歓声(悲鳴?)があがり、何が始まるのかワクワクが隠せない様子の子どもたち。ついでとマットで作ったモンゴルのゲルのような個室の中で、「ライトテーブル」に様々なものを投影して楽しみました。カラーセロファンを重ねて違う色になるのが不思議だったようです。0歳児クラスの子どもたちも興味津々!最後は「ゲル」の中からひょっこり顔を出して「秘密の隠れ家」感も楽しみました!



どんな色になるかな～?



いつのまにかかくれんぼになっちゃった!

藤沢
保育園

みんなで貼ろう!ウィン

9月に3・4・5歳児クラス合同で行ったフィンガーペインティングで色付けした模造紙。新聞紙を大きく丸めてその模造紙をちぎり貼りして「ジャック・オー・ランタン」を作りました。10月に入り公園で鮮やかに色づいた葉、大きな葉、どんぐり帽子のついた枝など拾い集めて「ジャックのおふとんにしてあげよう!」「ジャックのおうちにどんぐりかざろうね!」とハロウィンに向けてワクワクの子どもたち。「ステキなおうちができた」と飾られた「ジャック・オー・ランタン」に大満足でした。



ジャックをつくろう!



ジャックのおうちができた!!

富士ライフ
豊田園

ハッピー ハロウィン

3歳児クラスの10月は、折り紙でのハロウィン制作でした。折り紙は指先の器用さを育てることはもちろんですが、手順を聞き進めることで集中力が養われます。前月苦戦したのり貼りを「お化けは、沢山ののりを人差し指につけて伸ばして白いお山がなくなるように背中全部につけてね」「お星様はダンゴ虫の赤ちゃん位の量を指につけて伸ばしましょう」と伝えました。仕上げに子どもたちと栽培して大きくなり過ぎたオクラを金銀でスタンプしたことで完成した喜びが増しました。同じ素材を準備しますが、お化けの表情の違いだけでなく、星の位置を考え貼ったり、押ししたりすることで個性豊かな作品になりました。



おばけとジャックオーランタン

南柏
保育園

光ってキラリ☆ライトテーブル

子どもたちが障子紙にカラーペンでお絵描きをして、その下にライトテーブルを置き、紙の透け具合やどのような色に見えるのかを遊びに取り入れました♪描いた絵がライトに照らさせると「うわあ!」と嬉しそうに話していました。その後はカラーセロハンやストローを乗せると元々よく色の名前を覚えてくれて、青と黄色のセロハンを重ねて緑に変わると「緑になった!」と驚いた様子で話していました。今後も遊びや活動に取り入れていきたいです!



お祭りの絵を描いてるよ!



どんな色が見えるかな?

ピノキオ幼児舎園だより

今回は、「ピノキオアートフェスタ」での取り組みや活動内容、子どもたちの様子をご紹介します！

桃井
保育園

紙コップパーティー

大量の紙コップをこれでもかと言わんばかりに使って思い切り遊んだアートフェスタ。普段は飲み物を入れる紙コップを天井に届くくらいに積み上げたり、組み合わせてお人形や玩具を制作したり、プールに入れて泳いだりとダイナミックに楽しみました。1人でどれだけの数を使ってもOK!邪魔をされることなくじっくりと遊びます。数千個の紙コップを前に遊びがどんどん広がり、大興奮な桃井保育園一同(子どもたち&職員)でした!!



コップのプールにドボン



どこまで高くなるかな?

ゆめのこ
保育園

どうぶつの森

「いろいろな廃材を使って立体で何か作ってみよう」と動物を作ったことがきっかけで始まった動物の森の制作。最初は「どうやるの?」「難しいな」と試行錯誤していましたが、取り組み続けることでみんなの想像力が大爆発!「動物が住む森を作りたい」と大きな模造紙を用意し、そこで動物たちが遊ぶ公園をイメージしながらクレヨンで絵を描き「シャワーも作ろう」「お魚スライダーも作ったよ」と立体の作品を次々と作り出していきました。全7回の取り組みを経て超大作が完成し、展示会や発表会を行って幕を閉じました。



協力&集中!!



親子展示会を開催☆

芦花保育園

アートフェスタ「森」

「森」をテーマに乳児クラス・幼児クラスに分かれて共同制作を行いました。乳児クラスも幼児クラスも大きな木を作り、そこには動物や果物、小人などの仲間が集まった素敵な空間が出来上がります。テーマの「森」に沿って子どもたちが「こんなものがあったら良いな!こんな木にしたいな!」と話し合いながらのびのびと制作を楽しんでいて、森が出来上がると誇らしげな表情の子どもたちでした。



乳児クラス合同制作



幼児クラス合同制作

和田保育園

紙コップの可能性は無限大

幼児クラス全体で行ったアートフェスタ!紙コップが入ったダンボールを見て何が始まるんだろう?とウキウキし、中から出てくる紙コップの数に驚く子どもたち!3コーナーに分かれ「一緒にお城を作ろう!」「〇〇先生見て!こんなに高く積み上げられたよ!」「紙コップを使ってけん玉作ろう!」などと楽しそうに遊ぶ姿が多く見られました。片付ける時にはとても長い紙コップの蛇が完成し「ながーい!」と喜んでいました。紙コップだけで自由に、のびのびと遊びを展開する子どもたち。その想像力や発想の豊かさに驚かされました!



巨大タワーの完成♪



紙コップシャワー発射~!

2023年度

ピノキオアートフェスタの取り組み

ピノキオアートフェスタは「作る体験」「遊ぶ体験」「保護者様を含めた情報共有」の3つの要素をもとに行っています。

『作る体験』は各園でそれぞれ内容を考え共同制作や作品展に取り組んでいます。

日々の生活に絡めた取り組みや、保護者様も巻き込んだ企画。クラスや年齢の垣根を越えた園全体での活動など、この機会をフルに活用して存分に楽しんでいる印象を受けました。

『遊ぶ体験』は今年度初めて講師による出張ワークショップを行いました。

12,000個の紙コップを使って、慎重に積み上げたり並べて紙コップの世界を作る『じっくりコーナー』、崩れることも恐れずダイナミックに遊ぶ『ワイワイコーナー』、自分で作りたい物を自由に作れる『工作コーナー』で遊びました。何度崩れても根気強く積み続ける子や、全身でハッスルして大量の紙コップに潜り続ける子。いろいろな遊びがある中でもやっぱり作ることが大好きな子など、何に興味を持ってどんなことが好きなのか、子どもたち一人一人をより知る良い機会になったと思います。

造形の魅力の1つとして、『自分で決める』ことがたくさん出来るという特徴があります。楽しむ物や楽しみ方。楽しんだことの価値も自分で決めることが出来ます。今回の取り組みで、子ども自身が決めることの大切さと意味を再認識しました。

『保護者様を含めた情報共有』として、こうした認識を共有することで、今後より一層子どもたちに『自分で決める』喜びを、一緒に伝え続けて行けたらと思います。

(クリエイションD 造形講師:小川陽一郎)



講師コメント

あそび方いろいろ

アートフェスタ出張ワークショップでは、紙コップが自由に使える「わいわいコーナー」を主に担当していました。紙コップを重ねて高くしていくニョロニョロあそびでは、みんなで協力して紙コップが天井まで届きました!

また、紙コップのプールも大人気でした。パシャパシャしたり、コップに埋まってじーっとしていたり、それぞれの楽しみ方をしていました。そうした一人ひとり違ったあそびの発見を見守っていかたいいなと感じるアートフェスタでした。

(造形講師:岡野智史)



ニョロニョロ紙コップ

講師コメント

子どもたちの「すき」が見えてきた出張ワークショップ

今年度からの取り組みの「出張ワークショップ」は、3種類の遊びを自由に体験することができたので、普段のPLPとはまた違った子どもたちの様子を見ることができました。例えば、この子はわいわいコーナーが好きそうだなと予想していたら、意外と工作コーナーで時間いっぱい集中して工作を楽しんでいることも子どもたちそれぞれの楽しみ方に、その子の「すき」を垣間見ることができ、新しい発見となりました。また、自分の担当園以外の園にも伺えたため、たくさんの子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。講師の私たちもとても良い経験となりました。

(造形講師:福島暁子)



英語の先生も来てくれました!

ピノキオミュージックフェスタ

園内コンサート



今年度のミュージックフェスタでは、各保育園にプロの音楽ゲストを招いて、園内コンサートを開催しました。子どもたちは生演奏を見て聴いて、楽しいひと時を過ごしました。間近で見る本物の楽器に、みんなの目はキラキラ!音楽に合わせて、心も体もワクワク揺れ動く感動を味わいました。

今回はコンサートの様子をピックアップしてご紹介します。



芦花保育園

打楽器コンサート

見たことのないたくさんの楽器にみんなクギづけ!
楽器や体を使ってみんなで一緒に演奏を楽しみました。

ゲスト:NPO法人 打楽器コンサートグループ・あしあと 様



つつじヶ丘保育園

ヴァイオリン・フルート・ピアノ コンサート

美しい音色に子どもたちはうっとり。
鑑賞後には本物の楽器を体験しました。
気分はリトルミュージシャン!
園児の保護者様が、
ピアニストとしてサプライズゲストでご登場!

ゲスト:
ピアノ奏者…市原 律子 様
フルート奏者…伊藤 春 様
ヴァイオリン奏者…山川 絢子 様



桃井保育園

和太鼓コンサート

躍動感あふれる和太鼓の生演奏に子どもたちは大興奮。
和太鼓体験では、みんな真剣です!

ゲスト:和太鼓 暁 様



井荻保育園 井草保育園

フルート・弦楽三重奏

有名なクラシック音楽も、楽しいアレンジでみんな虜に!
コンサートが終わった後も、子どもたちの心の中には
素敵なハーモニーがしっかりと刻まれたようです。

ゲスト:NPO法人 みんなのことば 様



高円寺南保育園 杉並区保育室高円寺

うた・フルート・オーボエ・ピアノ コンサート

楽しいストーリーに乗せて、子どもたちは歌ったり踊ったり演奏したり…
幅広い年齢の子どもたちがみんなと一緒にコンサートを楽しみました。

ゲスト:一般社団法人 0才からの音楽会 ムジカベベ 様



子育て ちゃつChatチャツ

ピノキオ
子育て奮闘記



保育園に感謝の意を込めて

現在、ピノキオ幼児舎浜田山保育園には1歳の桃と3歳の柚子がそれぞれりす組とうさぎ組でお世話になっております。二人は何をするにもいつも一緒に、保育園では両クラスの境界の壁にある小窓からお互いを見つめ合うほど仲の良い姉妹です。もちろん、喧嘩をすることもあります。が、「〇〇をしてごめんね」と原因を特定した上で謝ることができることに成長を実感しています。このことは、すでに保育園の集団行動を通じて、地域社会で自然やたくさんの人と交流して人間形成に必要な助け合いの心や共感する心を育むために重要な経験をさせていただいている結果かと思えます。

今振り返ると、私が幼少期の頃は家庭保育が一般的であったため、当時0歳児の長女を保育園に入園させることは少なからず不安や罪悪感がありました。

しかし、実際に入園すると、娘たちは保育園が大好きになってくれました。帰宅後はいつも今日の出来事、先生やお友だちの話をしてくれます。また、連絡帳や降園時の状況報告は一日のできごとを詳細に把握できるため、安心して娘たちを預けることができています。

東京大学山口慎太郎教授は、保育園に通う子どもたちの言語発達は顕著であり、3歳半の時点では他人への攻撃性の低下を示すことを報告しています。事実、この研究と合致して、柚子と桃の言語発達は保育園に通っていないお友だちよりも早いのではと思っています。

娘たちの幼児期においては、家庭では親にこそできる愛情やしつけなどの教育を、保育園では多くの人との人間関係の構築や自然との触れ合いによる教育をハイブリッドさせることで、生命の尊さを伝え、人の痛みが理解できる人格的に優れた大人に成長してくれれば幸いです。

当初は保育園に通わせることに不安を感じていましたが、現在は浜田山保育園に入園できたことは娘たちのためにも大きな成功であったと考えています。

ピノキオ幼児舎浜田山保育園にももちゃん(1歳)とゆずちゃん(3歳)をお預け頂いている保護者様です。

ピノキオ幼児舎Youtubeチャンネルからのお知らせ \\ 入園動画ができました! /

動画ではのびやか保育について、PLP、食育、安心・安全への取り組み、創業者の想い、保護者様からの声をそれぞれのセクションに分けて、私たちの想いをお伝えしています。

動画はYoutubeにアップしています。右の二次元コードを読み取って、ぜひご覧ください!



ピノキオ幼児舎
YouTubeチャンネル
にて配信中!



キッズ義援金 募金活動実施のお知らせ

ピノキオ幼児舎では、被災した子どもたちの

明るい未来と笑顔を願い、

今年度も「キッズ義援金募金活動」を実施いたします。

1月~2月の期間、各園にて募金活動を行いますので、みなさまの温かいご支援とご協力をいただければ幸いです。

お預かりいたしました義援金は、

宮城県が呼びかけております

「東日本大震災みやぎこども育英募金」へ

全額お送りいたします。

子どもを取り巻く環境や課題は

時間と共に変化をしています。

ピノキオ幼児舎では今後も支援を続けて参ります。

ピノキオ幼児舎のおもしろ日記

「人気のあそび」の巻

原案/造形講師 え/岡野 智史

